

地域の特産品「今が最盛期！守口大根」

江戸時代に中国から伝わり、大阪の守口市で栽培された細長〜大根、それが扶桑町で栽培されたのは、昭和26年ゴボウの後作として試作されたのが始まりです。今では全国の70%が濃尾平野で生産されています。秋に種をまき、12月〜1月にかけて収穫されます。収穫後、塩漬けや酒漬けを繰り返し、調味料などであの独特の味に付け替えられます。食卓に上るまでは早いものでも2年以上かかるそうです。



教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問をお待ちしています！

Q1: 「もち米」と「うるち米」の違いって何ですか？

A1: お米のでんぷんには、**アミロース**（固さをきめるでんぷん）と**アミノパクチン**（粘りをきめるでんぷん）とがあり、この2つのでんぷんの割合によって「もち米」と「うるち米」に分かれます。うるち米は、私達が普段食べているお米です。15〜35%のアミロースと、65〜85%のアミノパクチンで成り立っています。うるち米のかたくなる原因はアミロースだったのです。もち米は、お餅や赤飯に使われます。アミロースがまったく含まれず、100%アミノパクチンでできています。お餅の粘りは、アミノパクチンが原因だったというわけですね。

Q2: 冬の訪れを知らせる「ユキムシ」ってどんな生きものですか？

A2: 雪が降る時期になるとどこからともなくやって来る、**体長3〜4mmの白い綿をつけた虫「ユキムシ」**を見かけることがあります。ユキムシが見られた数日後には、気温が下がり、場所によっては雪が降ってきます。ユキムシは「アブラムシ」の仲間、春は植物の葉裏、夏は地下で暮らします。晩秋になると春にすんでいた所へ帰り産卵し、卵で越冬します。雪が降る前の日などは天気が良く暖かくなるので、この小春日和になる日を引越しの日にしているのでしょうね。



編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所（しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ）
 (〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

犬山支所 (〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201)
 羽島支所 (〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127)

【ホームページアドレス】

☆新濃尾農地防災事業所: <http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/>
 ☆農林水産省: <http://www.maff.go.jp/> ☆東海農政局: <http://www.tokai.maff.go.jp/>



リフレッシュ濃尾用水

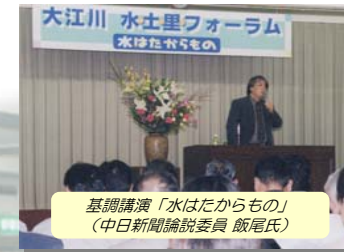
【編集発行】
 農林水産省東海農政局
 新濃尾農地防災事業所
 2004年12月 第4号

Topics!

- ★ 11月20日に事業所主催で開催した「大江川 水土里フォーラム」は、約450名の参加をいただき、大変充実したものとなりました。出演・来場いただいた皆様、本当に有り難うございました！
- ★ 10月より開始しております今年度の各施設の工事進捗状況をお知らせします。

「大江川 水土里フォーラム」に地域住民約450名が参加！

～歴史ある大江川を通して、潤いある地域づくりを考えよう～



11月20日、一宮スポーツ文化センターにおいて、東海農政局及び当事業所の主催により「大江川 水土里フォーラム ～水はたからもの～」を開催し、現在、改修工事を行っている大江川（大江排水路）の歴史や役割などを紹介するとともに今後の潤いある地域づくりについて考えました。当日は、同日午前に行われた「大江川クリーン作戦（グラウンドワーク一宮実行委員会主催）」に参加した地域住民の方々など約450名が会場を訪れ、約1,000年の歴史を持つ大江川の過去、現在、そして未来について様々な思いや希望が述べられました。事務局の予想を上回る大盛況のフォーラムでした。出演そして来場いただいた皆様、充実した時間をありがとうございました。



今年度工事の進捗状況お知らせします！

築造後数十年が経過し、機能が低下している農業用施設を

新濃尾農地防災事業において補修・改修することにより、

農業用水の安定的な供給や災害の未然防止などを実現します。

羽島支所だより

羽島用水路の工事は、ゴミの投棄や雑排水の流入などによる農業用水の水質悪化を防ぐため、今は開水路として流れている水路をパイプライン化して、地中に埋めるものです。現在、既設水路の取壊しを終えたところであり、引き続き、FRPM製の新しいパイプやパイプを守るための基礎砕石を埋めるために地面の掘削を行っています。



家屋の近傍では土留めを行います

<羽島用水路>



第6回 大江川クリーン作戦に参加しました！

11月20日に一宮市内において開催された「大江川クリーン作戦（グラウンドワーク一宮実行委員会主催、当事業所等の後援）に東海農政局及び当事業所から職員約40名が参加しました。毎年街の緑が秋の訪れと共に少し色づくこの時期に行われ、今年で6回目となるこの催しには、早朝より一般市民ら約800人が参加。澄み切った秋晴れのもと、実行委員長等の挨拶の後、大江川（大江排水路）及びその沿道において参加者が5つのブロックに分れ、水路底に降りてゴミを拾ったり、沿道をほうきで掃いたりして清掃を行いました。清掃終了後には、毎年参加者に芋煮汁が振る舞われるので、あわせて当事業所のPRパンフレットの配布も行いました。今回「大江川クリーン作戦」が開催された大江川（大江排水路）は、一宮市をはじめとした2市1町をまたぐ全長16.7kmの改修工事が計画されており、今年度までに下流からおよそ8kmの区間が完成する予定です。



クリーン作戦のようす



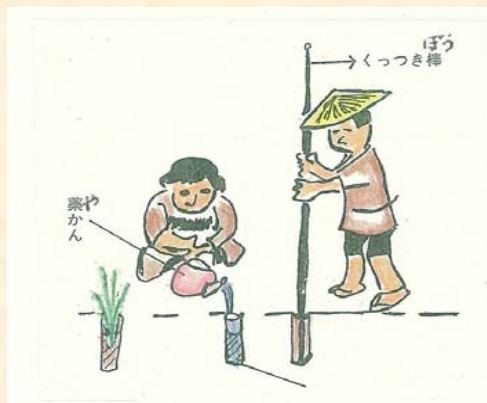
最後には芋煮などがもらえます



工事中

羽島ものがたり

羽島用水路がなかった時代は、日照りが続くと、川も井戸も涸れて、田植えも出来ない状態になりました。人々は、池の底にたまった「たまり水」を桶にくみとり、木の棒（くっつき棒）で田んぼに穴を開け、その穴へ薬かんで水を注ぎ、一株一株、苗を植えたそうです。



<笠松町資料より>

犬山支所だより

犬山頭首工の補修工事は、5回目になる木曾川の仮締切工事（全体で6回を予定）を進めています。台風22号や23号の通過時には、ここ近年ではみられない量の出水が出て、作業の中断も余儀なくされましたが、現在その遅れを取り戻すべく、上流側、下流側の仮締切工事や管理橋の左岸側橋台の工事を急ピッチで進めています。

左岸幹線水路の工事は、前号の折り込み資料でもご案内のように、既設の水路を取り壊さずに、水路の表面を清掃して補修する工事です。現在、工事期間中の冬期用水を下流側へ送るための仮廻し水路（コルゲートパイプ）を設置したところであり、引き続き、水路壁面の補修に必要な足場の設置を行っています。



上流側の仮橋から工事を行っています

<犬山頭首工>



側壁補修のための足場を立ます

<左岸幹線水路>

大江川だより

大江排水路（大江川）の工事は、周辺地域の市街化等に伴い、大雨の時の通水機能が低下している今の玉石積み水路を、より多くの水を流すことのできる断面に改修します。現在、既設の玉石護岸の取壊しを終えたところであり、引き続き、工事期間中の仮排水路を設置し、ブロック積み護岸を新設する準備を行っています。



仮排水路を設置し工事を行います

<大江排水路（大江川）>